

つくば常民大学9月(第36回)

講師：亀ヶ谷行雄（民謡研究者・会社員）

題目：茨城県の民謡今昔—つくば市周辺を中心にして

日時：2024年9月19日（木）午後1時～3時半

場所：つくば市二の宮交流センター

※ 参加自由・要資料代

茨城県・三浜地方の漁師唄、「磯節」は日本三大民謡に数え上げられています。民謡はその土地の自然・生業・生活ぶり、風土が生み育んだ民俗芸能といえます。

地元、つくば市周辺でも、かつては多くの民謡が唄われていましたが、産業構造や生活様式の変化により、現在ではその多くが唄われなくなりました。

私は、昭和50年代から平成の初めにかけて、これらの民謡を記録に残そうと調査を重ねてきました。今回は、当時の録音や聞き書きをもとに、つくば市周辺の民謡について、音声や映像資料を用いながら次のような内容で語ります。

- 1 茨城県の民謡研究史
- 2 田植え唄
- 3 あんば様信仰と大杉囃子
- 4 盆踊り
- 5 女人講と民謡
- 6 小念仏
- 7 筑波小唄と筑波節—つくば市の新民謡



盆踊り(つくば市妻木)大杉囃子(つくば市上大角豆)



「筑波節」のレコード(昭和6年。演奏：北条芸妓連)